

令和4年度 経営発達支援事業・事業継続力強化支援事業
モニタリング検討委員会議事録

1. 評価機関名 音更町商工会 モニタリング検討委員会
2. 開催日時 令和5年3月28日(火) 18時30分～19時00分
3. 開催場所 プロspa6 2階ホール
4. 出席者名
 - (1) 外部有識者
 - 山崎 剛史 日本政策金融公庫帯広支店 国民生活事業統轄
 - 原口 勝全 (株)原口経営コンサルタントオフィス代表 中小企業診断士
 - 敦澤 琢弥 北海道商工会連合会 十勝支所長
 - (2) 音更町商工会
 - 村瀬 正明 副会長・モニタリング検討委員会委員長
 - 千葉 悟 理事・総務広報委員長
 - 富田 秀彦 事務局長
 - 角谷 稔 法定経営指導員
 - 畔木 巧 法定経営指導員
 - (3) 音更町
 - 櫻井 智和 商工観光課長
 - 福田 雅允 商工観光課商工労政係長
 - 木戸 裕子 商工観光課商工労政係主任

5. 議事経過の要領及びその結果

定刻となり、事務局の富田局長が開会を宣し、村瀬委員長が開会挨拶を行ったのち、議長となり議事に入った。

(1) 経営発達支援事業の実施状況報告及び事業評価等について

村瀬議長より事務局に対して説明を求め、畔木経営指導員が経営発達支援事業の実施における事業評価の趣旨を説明し、資料3の事業評価シート(令和4年度)に基づき下記の通り説明を行った。

I 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

①地域経済分析システム“RESAS”を活用した調査・分析

【実施内容】RESASの地域経済に関する様々なビッグデータを利用して、人口動態や産業動態の調査・分析を行い、広く情報提供を行いました。

【実施効果】新たな事業展開や販路拡大などの事業計画策定の基礎的資料に活用しました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
1回	1回	A

②中小企業景況調査の情報提供

【実施内容】北海道地域の経済動向調査・分析によって得られた情報を、ホームページへの掲載等により広く情報提供を行いました。

【実施効果】新たな事業展開や販路拡大などの事業計画策定の基礎的資料に活用しました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
4回	4回	A

II 経営状況の分析に関すること【指針①】

①税務相談時における財務分析の実施

【実施内容】売上高及び売上総利益や営業利益等の定量分析を行い、経営状況の把握と経営上の課題や問題点の洗い出しを行いました。

【実施効果】2会計期間の経営指標による経営分析の結果を小規模事業者に提供することにより、財務状況における自社の現状と課題が明確化され、これに基づき策定する事業計画の基礎的な情報として活用が図れました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
200件	214件	A

②小規模事業者の財務分析の実施

【実施内容】中小企業基盤整備機構の「経営自己診断システム」を活用し、「収益性」「安全性」「成長性」等についての財務分析を実施しました。

【実施効果】経営計数等のデータをグラフや表などでわかり易く「見える化」でき、新たな事業展開や販路拡大における基礎資料に活用出来ました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
30件	6件	C

③ヒアリングシートを活用した非財務分析の実施

【実施内容】 ヒアリングシートを活用して、ビジョンや内部・外部環境、商品・サービスの特徴やターゲット等についての分析を実施しました。

【実施効果】 小規模事業者に対して情報提供することにより、経営課題の抽出や新たな事業展開に向けた事業計画策定の基礎資料に活用出来ました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
30件	6件	C

Ⅲ事業計画策定支援に関すること【指針②】

①事業計画策定セミナー・個別相談会の開催による事業計画策定支援

【実施内容】 販路開拓や事業再構築に向けた事業計画策定セミナー及び個別相談会を開催し、事業計画策定に向けた支援を実施しました。セミナーは2回で7名、個別相談は2回で4名の参加でした。

【実施効果】 販路開拓に向けた小規模事業者持続化補助金の申請にあたっての計画策定手法についての理解が深まり、計画策定に向けた支援が図れました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
4回	4回	A

②創業セミナー・個別相談の開催による創業計画策定支援

【実施内容】 今後の創業にあたっての心構えや事業計画作成のポイント、音更町の空き店舗補助金等についての説明を実施しました。セミナーは11名、個別相談は2名の参加でした。

【実施効果】 創業にあたっての事業計画の重要性や各種施策等についての周知が図れ、個別相談では創業計画書のブラッシュアップが図れました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
6回	3回	C

③事業承継支援の実施

【実施内容】 高齢な小規模事業者へのヒアリングにより、今後の進め方等についての説明と計画策定支援を実施しました。

【実施効果】 事業承継にあたって必要な知識の習得や課題等の整理が図れ、円滑な事業承継を行うことが出来ました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
2件	3件	A

④事業拡大、継続を目指した雇用環境改善支援

【実施内容】 —

【実施効果】 —

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
2件	—	—

IV事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

①事業計画策定後のフォローアップ

【実施内容】 事業計画及び事業承継計画の策定事業者に対して、事業実施に係るフォローアップ支援を継続して実施しました。

【実施効果】 計画通りに進んでいない事業者に対して、今後の対応等についての助言を行なったことにより、事業計画に沿った事業の実施に繋がった。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
29件	17件	C

V需要動向調査に関すること【指針③】

①即売会等の開催時における消費者需要動向調査

【実施内容】 音更ら～麵村の開催時において、来場されたお客様のニーズを把握するために、アンケート調査を実施しました。

【実施効果】 調査したアンケート結果は今後提供する商品や商品開発等

のためのツールとして活用を図ります。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
350件	625件	A

②展示会や商談会の出展時における需要動向調査

【実施内容】「北海道味覚マルシェ in 札幌」と「北の味覚、再発見」において、バイヤー等に対してアンケート調査を実施しました。

【実施効果】出品した商品に対する調査を実施したことにより、商品及び価格等の評価や、今後の販路拡大に向けた改善点等を把握することができました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
60件	54件	B

VI新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

①即売会開催等による販売促進支援

【実施内容】販売促進即売会として「音更ら～麺村」を開催するとともに、音更ら～麺の取扱事業者支援として、共同チラシを作成してスタンプラリーを実施し、集客向上に取り組みました。

【実施効果】音更ら～麺村では当日の来場者数が2,704名、販売チケット枚数が1,002となり、町内外の住民に対して、音更ら～麺と取扱事業者を知っていただく良い機会となりました。スタンプラリーでは実施期間の12/1～1/31の間にスタンプカード8,000枚を配布し、5店舗で飲食し応募された方が117人となり、コロナ禍ではありましたが多くのお客様に各個店を利用していただくことができました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
1回	2回	A

②展示会・商談会への出展による販路開拓支援

【実施内容】「北海道味覚マルシェ in 札幌」と「北の味覚、再発見」に

それぞれ2社が出展し、各バイヤー等へPRを実施しました。

【実施効果】内容の濃い商談が出来た事業所が2社と後日見積依頼があった事業所が3社あり、今後の販路開拓に繋がることが期待できる支援となりました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
2件	2件	A

③ ITを活用した販売促進支援

【実施内容】小規模事業者持続化補助金を活用して、WEBサイトでの通販システムや受注システム、事業者PRを総体的に実施するための、販売促進支援を実施しました。

【実施効果】通販システムや受注システムからの注文や問合せも増えており、ITを活用した販売促進に大きく繋がった。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
2件	1件	C

VII 地域経済の活性化に資する取組

① 地域特産品のブランド化による経済活性化

【実施内容】「音更ら〜麺」のPR・ブランド化に向けた会議を4回開催し、販売促進のために「音更ら〜麺村」の開催と、取扱店舗を回遊いただくためにスタンプラリーを実施して、各店舗の認知度向上と来店機会創出による経済活性化を図りました。

【実施効果】地域特産品である「音更ら〜麺」の消費拡大によるブランド化が図れた。また、取扱店舗の認知度も向上しリピーターの増加にも繋がりました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
2回	4回	A

② 地域イベントによる経済活性化

【実施内容】音更夏まつりやみのり〜むフェスタおとふけの開催によ

り、地域の小規模事業者の出店による商品の販売とPRを図るための出店支援を行ない、地域経済の活性化を図りました。

【実施効果】出店した小規模事業者の販促活動等を支援することで、売上確保や販路拡大に繋がりました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
1回	2回	A

Ⅷ他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

①各支援機関との情報交換

【実施内容】十勝管内経営指導員研修会での全体会議や日本政策金融公庫国民生活事業とのマル経協議会などで情報交換を行いました。また、よろず支援拠点・支援機関等連携フォーラムにおいて支援ノウハウの情報交換を実施しました。

【実施効果】他の支援機関の取り組み等を情報交換することにより、支援ノウハウの向上を図ることができました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
16回	15回	B

Ⅸ経営指導員等の資質向上等に関すること

①各種研修会への参加

【実施内容】中小企業大学校旭川校での専門研修への参加と、十勝管内経営指導員研修会や伴走型小規模事業者支援推進事業会議等の出席により研鑽を図りました。

【実施効果】研修会等への参加により、支援ノウハウの向上を図ることができました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
18回	21回	A

②職員会議による情報交換

【実施内容】担当業務や支援内容等の情報共有を図るとともに、今後の

業務予定等の確認を行いました。

【実施効果】職員同士で業務内容のチェックができ、間違いや対応忘れなどの未然防止に繋がりました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
1 2回	1 1回	B

③専門家派遣事業への同行

【実施内容】専門家の派遣支援に同行し、支援の現場に立ち会うことで資質の向上が図れました。

【実施効果】専門的な支援内容等における指導や助言方法等を間近で見聞することにより、今後の支援ノウハウの向上が図れました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
—	3回	—

X事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

①モニタリング検討委員会の開催

【実施内容】経営発達支援計画の説明を行い、今年度の実施状況と実績報告により、検討委員より評価・見直しについての提言をいただき、PDCAの取組を実施しました。

【実施効果】今年度の取組における評価や検証の方法について提言をいただき、今後の事業実施における手法や課題が明確になりました。

【事業評価】

目標数値	実績数値	自己評価
1回	2回	A

村瀬議長がこの説明を受けて、今回取り組んだ事業及び事業評価について、出席委員に対して意見等を求めたところ、山崎委員より創業セミナー・個別相談での支援において、実績数が3回となっているのは需要が無かったからなのか、との質問があり、事務局が実施にあたっての経緯等についての説明を行なった。続いて山崎委員から、次年度に帯広商工会議所で創業セミナーの回数を増やす見込みである旨の情報提供があり、事務局が帯

広市の状況を見ながら実施時期等を検討していく旨を説明した。

村瀬議長が他に意見等が無いかを議場に求めたが特になく、出席者全員異議なく承認した。

(2) 事業継続力強化支援事業の実施状況報告及び事業評価等について

村瀬議長より事務局に対して説明を求め、角谷経営指導員が別添資料の「事業継続力強化支援計画実施状況報告書」に基づき実施内容についての説明を行ない、村瀬議長が出席者に対して意見等がないか諮ったところ、特に発言はなく、出席者全員異議なく承認した。

(3) その他について

村瀬議長が出席者に対してその他について意見等がないか諮ったところ、特に発言はなく、出席者全員異議なく承認した。

すべての議事が終了し、村瀬議長がモニタリング検討委員会を終了する旨を述べ、19時00分に閉会した。